

とうわ  
**藤和けんこう通信**



2015年5月号 VOL.55

月1研修会 開催

発行元：藤和マッサージ（訪問マッサージ・はりきゅう）  
相模原院042-855-0420 町田院042-851-7528 海老名院046-204-5482

【4/28 月1研修会を開催しました！】

『認知症』に関する講習



施術者・石井旭さんが、講師役となって認知症に関する知識講習を行いました。認知症の患者様に対して、施術の現場対応で役立つ知識が聞けました。その中で、〇×クイズを実施

認知症にまつわる、〇×クイズ

- ①65歳以上の高齢者では、7人に1人程度とされている。
- ②一見すると認知症に見える仮性認知症というものがある。
- ③認知症は脱水で症状が進んでしまう。
- ④アルツハイマー型認知症の原因物質は健康な脳にも存在する。

答え①〇 ②〇 ③〇 ④〇

『移乗介助』に関する講習



施術者・小木野貴史さんが講師役となって、移乗の実習研修を行いました。施術の前後に、車いすからベッドへの移乗を施術者が行うこと等があるため、患者さんに不安を感じさせない、安心して任せてもらえる移乗方法を勉強しました。

移乗ポイント

- ①患者さんの体にできるだけ近いところにポジションを取る
- ②患者さんの頭の位置が重要:座位から立ちあがる際は、頭を上にあげるのではなく、頭を前方に引き出して立ち上がらせる
- ③術者に体を預ける際、手の力ではなく体全体で力を伝える預ける形をとる

い つ も 思 い や り あ る 対 応 を 心 が け ま す



～藤和マッサージからのお知らせ～

4月より新入社員が4名入社しました。ご紹介させていただきます。



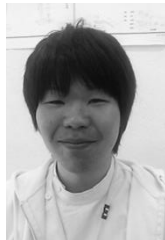
若本 大輔(わかもとだいすけ)  
鍼灸マッサージ師  
町田院所属

相模原市の橋本在住です。以前は鍼灸整骨院で7年間勤務しておりました。常に患者様のお役に立てるよう心がけていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。趣味は温泉旅行と自転車です。



岡本 尚弥(おかもとなおや)  
鍼灸マッサージ師  
海老名院所属

患者様の要望に合わせて、患者様一人一人に合った治療を出来るように心がけています。運動が大好きですので、患者様皆様のお身体を良くして、運動する楽しさを一緒に体験できればと思っています。病院付属のフィットネスに勤めていた経験を活かして、歩行訓練や運動療法を行っていききたいと思います。



禰潤平(いのりじゅんぺい)  
鍼灸マッサージ師  
相模原院所属

高校卒業後すぐにこの鍼灸マッサージの業界に入りました。患者様のご要望に答えられるように一生懸命頑張っていきます。生まれも育ちも相模原市です。最近ロードバイクを買いました。患者様一人ひとりに合った治療を心掛けてやっていきます。治療後に患者様を笑顔にできるような施術者を目指して頑張っていきます。



佐藤浩嗣(さとうひろつぐ)  
鍼灸マッサージ師  
相模原院所属

自分自身、鍼灸マッサージを受けるのが大好きで、皆様に少しでも笑顔になって頂けるよう頑張ります。音楽や仏像、バイク、旅行そして盆栽など何事に好奇心旺盛です。患者さんに喜んでもらえる施術を目指して頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

## GHアルプスの杜陽光台さんにて、バザー開催されました！

4月26日日曜 アルプスの杜陽光台さんにて、東日本大震災への募金を主な目的としてバザーが開催されました。藤和マッサージのスタッフもバザーの品物を提供させていただきました。当時はとても天気良くさわやかな気候で、光明学園高校の和太鼓部の迫力ある和太鼓の演奏が素晴らしかったです。バザーの方では、ふるーさんの石油石鹼をたくさん買わせて頂きました！

(右写真は)迫力ある見事な和太鼓の演奏！！



## 現場から・・・施術スタッフの声

施設にいる患者さんを施術する際に、最近では患者さんの旦那さんも同席しております。少しずつ患者さんの体調が良くなってきているよと旦那さんから言われ、これからも宜しくお願いします！と言われました。気を引き締めて施術を行っていきます！



1ヶ月休みだった患者さん、休む前は歩行訓練をやっていたが今はふらついたりと安定しないため運動中心、良くするのは難しかったり時間がかかるが、悪くなるのは簡単なんだなあ～と改めて思いました

歩行に消極的だった患者さんが、段々とやる気を出して歩く努力をしてくれる様になりました。あなたの顔を見たら元気が出てきた、と言われて嬉しかったです。





## 高齢者が長期入院「療養病床」、患者を削減へ

(2015年3月23日読売新聞)

厚生労働省は、寝たきりの高齢者らが長期に療養している「療養病床」の入院患者を減らす方針を固めた。入院患者の割合が全国最多の県を全国標準レベルに減らすなど、地域ごとに具体的な削減目標を設定する。入院患者の多い県は、療養病床の数自体が多い。病院が経営上の理由から、既存のベッドを入院患者で埋めようとしているとの指摘もある。多い県は1人当たりの医療費も高額化する傾向があり、厚労省は是正に乗り出すことを決めた。具体的には、2025年をめどとし、全国最多の高知県は、全国中央値に当たる鳥取県(人口10万人当たり213人)程度まで6割以上減らすことを目標とする。高知以外の都道府県も、全国最少の長野県との差を一定の割合で縮めるよう具体的な削減目標を割り当てられる。療養病床は全国に34万床あるが、過剰となる療養病床は今後、リハビリ病院や介護施設などへの転換が求められる見通し。同時に充実した在宅医療や介護体制の整備も課題となる。

●都道府県別の療養病床の入院患者割合  
人口10万人当たり人数。カッコ内は、国民健康保険と後期高齢者医療制度を合わせた1人当たり年間医療費(万円)

高い5県	低い5県
高知 614(61.2)	長野 122(46.4)
山口 489(60.5)	山形 127(48.8)
熊本 424(55.1)	岩手 145(45.1)
鹿児島 413(59.0)	秋田 151(50.4)
徳島 405(58.1)	神奈川 154(42.0)

※震災の影響で一部調査できなかった宮城と福島は除く

## 市販薬副作用に注意…5年で1225例、死亡も15例

(2015年4月9日読売新聞)

消費者庁は8日、2013年度までの5年間に、市販薬の服用で起きた副作用の報告が1225症例に上ったと発表した。このうち15症例は死亡例で、後遺症が残ったケースも15症例報告された。独立行政法人・医薬品医療機器総合機構は今回、そうした報告内容を分析し、消費者庁に提供した。それによると、副作用の報告が最も多かったのは総合感冒薬(風邪薬)で400症例。解熱鎮痛消炎剤が279症例で続いた。症状としては、目の充血や唇の粘膜のただれ、息切れなどのほか、肝障害や腎障害、間質性肺炎などで重症化したケースもあった。死亡例の内訳は風邪薬が8症例、解熱鎮痛消炎剤が3症例、せき止めが2症例などだが、副作用との因果関係が不明確な症例も含まれているという。同庁は「比較的安全と思われる市販薬でも副作用はある」と指摘。市販薬を購入する際には、アレルギーや持病の有無、服用している薬を薬剤師に伝えることや、異常を感じたら服用をやめ、すぐに医師や薬剤師に相談することなどを呼び掛けている。製薬業界に対しても8日付で、市販薬の副作用について消費者に適切な情報提供を行うよう求める文書を出した。

## えびな元気商品券 6年ぶり復活へ

(2015年4月10日タウンニュース)

地元消費を刺激し、地域経済の活性化に役立ててもらおうと、地域限定のプレミアム付き商品券「えびな元気」商品券の販売がこの程決定し、海老名商工会議所(【電話】046・231・5865)から概要が発表された。同様の商品券販売は2009年以来6年ぶり。国の地方創生交付金を活用して発行されるこの商品券は、100円券9枚と、500円券6枚の15枚綴り。1万円が3万2千セット販売される(希望者多数の場合は抽選)。購入は市内在住者に限定されており1人2冊まで入手できる。また1000円券については個店・大型店で利用可能な「共通券」として、また500円券は「個店限定券」として、あわせて1万2千円相当分の買い物に充てる事ができる。5月22日(金)までに購入予約を済ませた市民に対する商品券の販売は6月24日(水)から30日(火)を予定。その後、9月30日(水)まで利用することができる。

無料体験マッサージ、いつでもお気軽にどうぞ  
【医療保険適応 訪問マッサージ・はりきゅう】

発行元



とうわ

藤和マッサージ  
Towa Massage

相模原院 ☎042-855-0420  
町田院 ☎042-851-7528  
海老名院 ☎046-204-5482

相模原市南区南台4-13-23-1階  
町田市森野4-17-23-2階-B  
海老名市中央3-3-13-202